

東京スポーツ映画大賞授賞式レポート

2015.03.15

松井香奈枝

日時：2015年2月22日 16:00～18:30

場所：東京プリンスホテル プロビデンスホール

2月24日、ビートたけしが審査委員長を務める「第24回東京スポーツ映画大賞」および「第15回ビートたけしのエンターテインメント賞」の授賞式が、港区の東京プリンスホテルで行われた。

■第24回東京スポーツ映画大賞

監督賞：呉美保「そのみにて光輝く」

主演男優賞：上島竜兵「上島ジェーン」「上島ジェーン ビヨンド」

※「上島ジェーン」は2009年公開

主演女優賞：宮沢りえ「紙の月」

助演男優賞：寺島進「イン・ザ・ヒーロー」

助演女優賞：大島優子「紙の月」

新人賞：劇団ひとり「青天の霹靂」

技術スタッフ賞：江川悦子（特殊メイク）

外国作品賞：「ジャージー・ボーイズ」

本年度の作品賞は該当なし。

＜審査に参加した全国10の映画祭＞

あきる野映画祭、うえだ城下町映画祭、しまね映画祭、
周南「絆」映画祭、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭、
TAMA CINEMA FORUM、
とよはしまちなかスロータウン映画祭、
ながおか映画祭、ふかや映画祭、三重映画フェスティバル

■第15回ビートたけしのエンターテインメント賞（※敬称略）

特別賞：白鵬、黒田博樹

話題賞：May J.、新垣隆、江角マキコ&長嶋一茂

日本芸能大賞：博多華丸・大吉

日本芸能賞：テンダラー、どぶろっく、日本エレキテル連合

0.5発屋賞：スギちゃん

特別芸能賞：ナポレオンズ、三増紋之助、立川談春



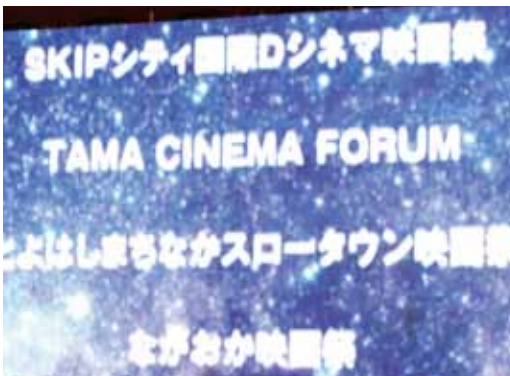
司会：ガナルカナル・タカさん、江口ともみさん。



ビートたけし審査委員長挨拶よりスタート。「今回も地方の各映画祭に協力してもらっている世界一正直な映画大賞」と、審査員へのねぎらいの言葉。「明日のアカデミー賞とかも怪しいもんな。」と毒舌も。とても映画愛のあふれる言葉に最初から感動。他、「今年はディズニーなどの音楽映画が映画界を席卷してしまって、目立つ作品がなかった。」と、作品賞の該当がなかったことなどについて説明。



ライブの合間をぬって駆けつけた話題賞のMay.Jさんが「Let It Go～ありのままで～」をアカペラで披露。「(主題歌の) オーディションあったの？」など鋭めのつつこみ。「アカペラなんて東スポせこいなー」といいつつ、迫力の歌声に審査委員長も最後には拍手。



審査員の各団体の名前がスクリーンに映し出される。各賞授与の前に審査委員長から再度今回の審査についての総評。

ここで、昨年亡くなった高倉健さんや菅原文太にふれ、「二人のお気持ちを考えたら、いやがるだろうなと思って、賞には選ばなかったよ」と、大スターを追悼した。



まずは、外国作品賞の「ジャジー・ボーイズ」の表彰。ふかや映画祭他の選出コメントが読み上げられる。ワーナーの方が代表として、授与&挨拶。クリント・イーストウッド監督からの受賞コメントとして「このたびは受賞に感謝します。私たちの新しい映画「アメリカン・スナイパー」が公開中です。よろしく」と、宣伝ともとれる豪華なメッセージ。



新人賞。劇団ひとりさんが受賞。審査委員長からは、「監督賞でも良かったんだけど後半の意味が分からないんだよ。期待を込めて新人賞。映画はつじつまが合わないけど最初にしてはうまくできてる。」とコメント。

ひとりさんは「受賞をきいて、急いでドキドキしながら東スポを読んだらなんか悪口ばかりだった」としながらも受賞の喜びを滲ませていた。



技術スタッフ賞は特殊メイクの江川悦子さん。たけしさんの出演するトヨタのCMや時代劇などで特殊メイクを担当。ハイビジョンでも分からない時代劇のカツラを合わす技術などが評価された。江川さんは「長いことやっているがこのような賞は初めて。」と喜びのコメント。審査委員長は「こういう人が映画をつくっている。裏方さん、という言い方もおかしいな」と、その技術をたたえた。



助演男優賞は「イン・ザ・ヒーロー」の寺島進さんとスーツアクターの皆さん。寺島さんの代わりに武正晴監督が登壇。監督は「なによりも東スポで賞がもらえるのがうれしい。スーツアクターはあまり表にでてこないがそういうところも評価していただけてありがたいです。」とコメント。



続いて助演女優賞。「紙の月」でOL役を努めた大島優子さん。TVで普段見るより大人っぽい衣装で登場。「卒業してまだ1年足らずで、アイドルから女優になった。歌ったり踊ったりしていたから、勤がいいよね。これから勝負。」と励まされると、「本当に嬉しいです。身が引き締まりました」とコメント。その他、所属事務所の元先輩であることで、たけしさんが以前住んでいた寮にAKB時代住んでいて、毎日霊を見ていたなどのエピソードを披露した。



主演男優賞。審査委員長は賞をあげたいヤツなんかいないということで、捨てるなら上島竜兵にやると決定。ホントにもらいに来るのかそのリアクションを見てみたいとのことでの受賞。上島さんは「「上島ジェーン ビヨンド」のビヨンドはたけしさんの作品からパクりました。」「去年は松田龍平さんが受賞されたのでリュウヘイツながりですね。」とコメント。会場にはどこからともなくおでんの匂いが…。寺門さん、肥後さんも登場し、例の芸を披露。



前半最後は、監督賞。「そのみにて光輝く」の呉美保監督。審査委員長からは「この映画は低予算でも、審査員からも評価が高かった。映画は料理と一緒に大きなレストランもあれば小さな割烹みたいのものもある。そういう意味ではどちらが優れているとはいえないんだよな。」と。呉監督は「少ない予算で公開を諦めようと思ったこともある作品。こういう評価をしていただいたのが光栄です。今後も頑張ります。」とコメントした。



そして…ノミネート審査員の紹介ということで、他の映画祭の皆さんと登壇。「とよはしまちなかスロータウン映画祭は今年で14年めになります。行政にたよらず映画好きな市民の集まる映画祭です。こうやって私たちの映画祭を審査員に選んでいただけたことに感謝しております。東スポ映画祭の更なる発展を期待しています。」という感じでPR。トップバッターで脚がガクガクでした。力不足で申し訳ございません。



続いてはエンターテインメント賞の発表。0.5 発屋賞のスギちゃんや立川談春さんなどが受賞。ゴーストライター騒動で話題となった新垣隆さんのオリジナル曲なども披露された。博多華丸・大吉、どぶろっく、その日にラグーナ蒲郡から駆けつけた日本エレキテル連合がネタを披露。ウケないと評判の会場にもまけずパワフルなネタで場を盛り上げた。



そして、最後には主演女優賞で「紙の月」宮沢りえさんが登場!!! 女優オーラ全開でとても美しい。審査委員長は「アイドルから、色々あって脱皮していった。すごい女優になった。オイラの映画にでてほしい」と大絶賛。宮沢さんは「本当にうれしい。3回受賞しましたが、今回が一番うれしい。初めてお会いしてから四半世紀くらい経っているが、やっと役者として認められた」と涙ながらに受賞をよろこんでいた。

最後に、たけし審査委員長の総評。「フィルムで撮る監督も減ったし、アートもエンターテインメントも汚されている。一日7時間スマホを動かしている時代にエンターテインメントがどんな風になっていくのか考えていかなければならないよね。今回の呉監督のような映像美もあるんだなと。今後の映画を見守っていかなければならない。」とたけし審査委員長らしい言葉で締めた。

東京スポーツ新聞社の酒井社長の挨拶で閉会された。



最後の集合写真。厳しくも、映画愛のあふれる第24回東京スポーツ映画大賞、楽しく拝見させていただきました！ありがとうございました。